



岡山市水道事業審議会

第44回資料

平成 25 年 5 月 27 日(月) 14 時～

メルパルク OKAYAMA 3 階 「芙蓉」

岡山市水道局

目 次

岡山市水道事業総合基本計画アクションプラン後期編 平成25年度取組予定	・・・・・・・・・・ 1
--	--------------

アクションプラン後期編

平成 25 年度取組予定

平成25年度の事業費等

1 事業費

(単位：百万円)

項目	期間中の 総事業費	H25 年度 予算額	累計額 (H24～25)	執行率 (%)
1 安全でおいしい水の供給	925	128	523	56.5
2 信頼性の高い水道システムの確立	29,802	6,036	12,007	40.3
3 災害に強い水道づくり	1,451	322	614	42.3
4 お客様の満足に応える水道づくり	2,216	407	836	37.7
5 行財政改革の推進等による経営基盤強化	41	6	12	29.3
6 資源循環型の水道システムの構築	478	97	250	52.3
合計	34,913	6,996	14,242	40.8

※ 累計額及び執行率は、H24 年度と H25 年度の予算額の合計で算出しています。

2 「5 行財政改革の推進等による経営基盤強化」による効果額

項目	H28 年度目標	H25 年度目標	備考
経費節減額	▲704 百万円	▲339 百万円	H23 年度との単年度比較
事務事業、組織機構の見直し	▲370 百万円	▲170 百万円	
支払利息	▲218 百万円	▲130 百万円	
職員数の目標	345(▲15)人	355(▲5)人	

企業債残高	255(▲53)億円	284(▲24)億円	
-------	------------	------------	--

平成25年度の主な取組予定

1 安全でおいしい水の供給

目的

お客様に安全でおいしい水をお届けするために、水源、浄水、配水、給水の各過程での管理、検査体制を向上させます。

◇ 水源林整備の継続実施 : 7百万円

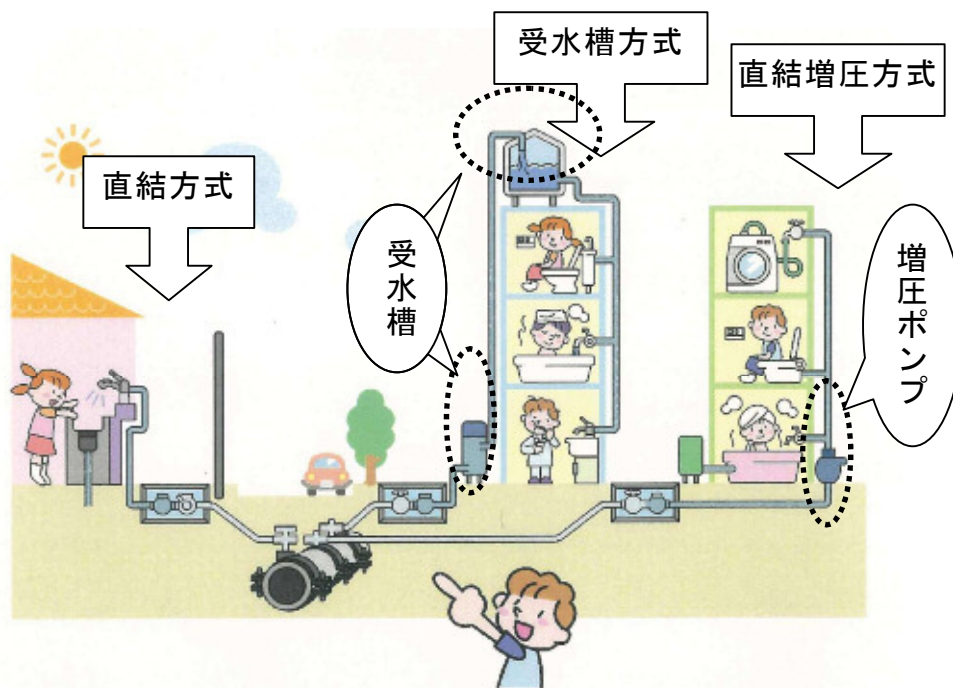
清浄、豊富な水源を確保するため、旭川水源地域である鏡野町、新庄村で間伐、枝打等を行い、水源林の保育や天然林の整備を行います。

目標:間伐実施面積 5ha 枝打実施面積 4ha

◇ 直結給水の推進

貯水槽方式と比べて衛生的で省エネにもつながる直結給水方式の推進のため、ホームページ等で広報する等、給水方式の切替を促進します。

目標:直結給水方式への切替件数 14件



◇ 鉛製給水管の解消 : 105百万円

水質の安全性確保及び漏水を防止するため、公道部分の鉛製給水管の解消事業を推進します。

目標:鉛製給水管の解消率 90.2%

2 信頼性の高い水道システムの確立

目的

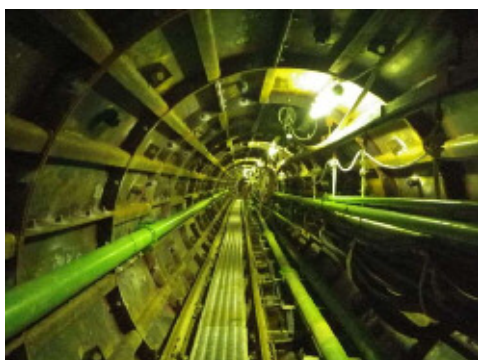
計画的に老朽施設を更新するとともに、水需要に応じた施設整備を行い、将来にわたる水道の安定供給を目指します。

◇ 施設のレベルアップ：347百万円

水需要に応じた効率的な水運用を行うとともに、事故等非常時における断水・濁水を低減させるため、旭東浄水場配水制御システムを更新する等、最適な配水体制を整えます。

目標：旭東浄水場配水制御システムの更新完了

◇ 老朽管の計画的更新：4,553百万円



中央幹線工事の様子

**目標：更新延長 34km
石綿管解消率 96.8%**

赤水の発生や漏水及び破損事故を未然に防止するため、老朽化した水道管を計画的に更新するとともに、石綿製の水道管の解消を推進します。

特に将来にわたる水の安定供給を確保するため、平成25年度までの継続事業として進めていた、市内中心部へ配水す上で重要な役割を果たす中央幹線(三野～番町間延長約2.5km、口径1200^{ミリ}～800^{ミリ}配水管)の布設工事を完工させます。

3 災害に強い水道づくり

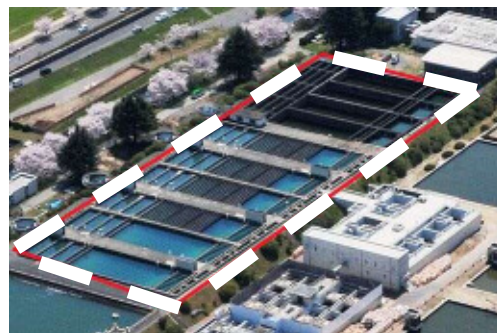
目的

管路・施設等の耐震化を進めるとともに、災害発生に備えて復旧体制、給水体制の強化に努めます。

◇ 施設の計画的耐震化：59百万円

◇ 配水管網の耐震化(事業費は「老朽管の計画的更新」内で計上)

地震等災害の発生時における生活必要水を確保するため、三野浄水場薬品沈でん池の更新耐震化への着手(平成29年度完工予定)、矢坂山配水池耐震補強工事の完工



更新予定の薬品沈でん池

等、施設の耐震化を推進します。

また、管路被害を極小化させ早期の給水復旧を図るため、老朽管路の更新に併せた管路耐震化を推進します。

目標：配水池耐震化率 42.7% 管路耐震化率 10.8% (1.4ポイント↑)

◇ 浄水場自家発電設備の充実：85百万円

大規模災害時等の非常時においても施設を稼働させ給水の確保を図るため、浄水場等主要施設の非常用発電機の更新計画を策定するとともに、計画的な整備を推進します。

目標：非常用発電機更新計画の策定

4 お客様の満足に応える水道づくり

目的 お客様窓口の改善、広報・広聴の充実等、お客様の視点に立ったサービスの提供を推進します。

◇ おかやまの水のおいしさ、大切さを伝えるPR活動

水道水のおいしさや安全性をより知っていただくため、水道フェア等のイベントの開催、岡山駅に設置したウォーターステーションでの飲用水の提供、水道局ホームページでの広報など、各種PR活動を行います。

また、水道の重要性や水の大切さについて知っていただくため、登録有形文化財に指定されている水道記念館や水道の日等のイベントを実施するなど啓発活動を行います。



水道記念館イベントの様子

目標：イベント来場者数 3,500人 ホームページアクセス数 77,000件

5 行財政改革の推進等による経営基盤強化

目的 限られた財源を有効に活用し、安定的な事業運営を継続させるため、経費節減等の行財政改革を継続します。また、効率的な事業運営を図るための組織を構築し、原動力となる職員の技術の継承、人材育成に努めます。

◇ 行財政改革の推進

よりスリムで効率的な事業運営を目指し、組織及び事務事業の見直しを行います。併せて、将来の財政負担の削減及び財政基盤の強化を図るため、引き続き企業債残高及び支払利息の削減を行います。

目標：事務事業等見直し額 ▲170百万円
企業債利息削減額 ▲130百万円
企業債残高 284億円

6 資源循環型の水道システムの構築

目的

水道事業は循環資源である水を利用し、24時間安定供給のために電力等多量のエネルギーを使用しています。地球環境に配慮することは社会的な責務であり、環境保全活動、エネルギーの有効利用等を引き続き実施していきます。

◇ 漏水防止事業の推進：75百万円

水資源を有効に利用するため、引き続き予防対策に重点を置いた漏水防止事業を実施します。

目標：有収率 89.6%

◇ 浄水発生土の有効利用

資源の有効利用及び処分経費の節減を図るため、浄水処理過程で産まれる発生土の園芸用土等への有効利用に努めています。平成23年度に取得した発生土の破碎に関する特許技術を生かし、新たに「おかやま産土（サンド）」として袋売り販売を開始します。

目標：有効利用率 100%

販売袋のデザイン



◇ 小水力発電設備の設置

水を送る過程で発生するエネルギーの有効利用を図るため、小水力発電設備の設置に向けた調査・研究を行います。

目標：アクションプラン後期編期間内で1基設置